

# 大津一小だより



令和3年9月30日  
柏市立大津ヶ丘第一小学校  
277-0921 柏市大津ヶ丘 3-50  
電話 04-7192-1110  
Fax 04-7192-1127  
<https://kashiwa.ed.jp/otsu1-e/>

## 「デジタル・シチズンシップ」について No.11

10月1日より緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が全て解除となり、通常日課に戻るようになりました。詳しくは9月29日配布及び学校HPにアップしている「10月1日以降の学校における対応について」をご覧ください。

登校しないことを選択する児童については、これまで通り Google meet を使って可能な限り授業を配信し、課題は Classroom を使って配布・提出します。希望をされる家庭は、学校にご連絡ください。

緊急事態宣言中の9月、家庭からのオンラインの授業参加をする児童も数名いたのですが、低学年のAさん本人から「オンラインがつながりません」と電話がありました。Aさんは電話で自分の端末の状況を職員に説明し、自分で操作して解決することができました。今回自分で一生懸命トラブルを解決し、とても素晴らしいなと思いました。大人が全て手をかけてしまうのではなく、子どもが自分で問題を解決する経験も大切で、成長する良いチャンスです。



先日、町田市でタブレット端末を介したいじめによる悲しい事件がありました。事件が起こった原因の一つに全員同じパスワードであったことが取り上げられました。柏市の全小中学校では、児童それぞれ異なるパスワードが振り分けられ管理されています。家庭学習用にアドレスやパスワードを持ち帰っていますが、管理をお願いします。

町田市で起きたような事件が起きにくい環境づくりとして、「①見えるシステム」「②やりづらいシステム」「③デジタル・シチズンシップ」3つの実施を本校で行っています。

1つ目の「①見えるシステム」とは、「抑止力」です。Googlemeet の会議システムでは、授業者が必ず入っています。また、Googleclassroom には、学級担任だけでなく校長や教頭など複数の職員が入れるようになっていて児童の学習活動を複数の目で見るができます。

2つ目の「②やりづらいシステム」とは「ハードル」です。Googlemeet の入口を出したりしまったりすることは教員にしかできません。子どもたちだけでは会議を開くことはできないのです。

3つ目の「③デジタル・シチズンシップ」とは「責任ある行動規範」です。なぜ一人一台端末を使って学習するのか、一人一台端末を使うとどんな学びの可能性があるのか、どうすれば自分や相手を傷つけないで情報を扱うことができるか等を理解していくのです。「〇〇してはいけない」と大人が一方向的に子どもたちに教えるだけでは身につけません。子どもたちが自分たちで経験し考えていきながら身につけていくことが必要で、適度な失敗経験も必要です。「①見えるシステム」と「②やりづらいシステム」の中で、安心して失敗できる環境のもとで学ぶことも必要なのです。

大人でさえ、SNS で他人の個人情報を流したり、他人を誹謗中傷したりして「デジタル・シチズンシップ」が身につけていない方がいます。ぜひ、家庭でもお父さんと一緒に「デジタル・シチズンシップ」について考えていただきたいと思います。

### 10月の予定



- 1日(金) 2・3年生ステップアップ教室 5日(火) 5・6年生委員会活動(4年生5校時下校)
  - 8日(金) 5年生側弯症検診 2・3年生ステップアップ教室
  - 15日(金) 2・3年生ステップアップ教室 22日(金) 2・3年生ステップアップ教室
  - 25日(月) 6年生助産師による性教育授業(保護者も参加可能) 後日案内を配布
  - 26日(火) 4~6年生クラブ活動 27日(水) 4年生校外学習
  - 29日(金) 2・3年生ステップアップ教室 5・6年生ジュニア救命士講習会
- ※その他、地域に出かけての学習、外部講師を招いての学習など、学年で計画しています。

